

SDGsの取り組み

ISHIYAの約束

ダイバーシティ

LCAの取り組み

ISHIYA

CSR

COMMUNICATION

BOOK

*

ISHIYA

〈発行〉

石屋製菓株式会社

社長室

広報CSR推進チーム

〒063-0052

札幌市西区宮の沢2条2丁目

11番36号

TEL.0120-375-562

（お客様サービス室）

2025

CSRコミュニケーションブック

石屋製菓株式会社 石屋商事株式会社



Route 148

2024年にオープンした地域住民の皆さまの憩いの場
西の町いこいの駅 Route148 (ルートイシヤ)。
自社商品だけではなく、地元の観光情報やイベント、
ゆかりのある作家さんの作品をご紹介します。



編集方針

「ISHIYA CSRコミュニケーションブック」は、
企業理念「しあわせをつくるお菓子」のもと「100年先も、北海道に愛される会社へ」を目指して、
持続可能な社会を形成するためにすべてのステークホルダーの皆さまへ
ISHIYAの取り組みを理解していただくことを目指しています。

- 報告対象期間／原則2024年1月から2024年12月とし、一部対象期間外の活動も含みます。
- 報告対象組織／石屋製菓株式会社・石屋商事株式会社
- 参 考 資 料／社会的責任に関する手引「ISO26000」

環境省発行「持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイド」

※2024年12月31日現在の部署・役職名で記載しています。

も
っ
と
地
域
と
よ
り
そ
つ
て
。

CONTENTS

ISHIYA CSR MESSAGE	03
STAND BY HOKKAIDO	05
社長と社員の巻頭対談	07

5つの経営方針

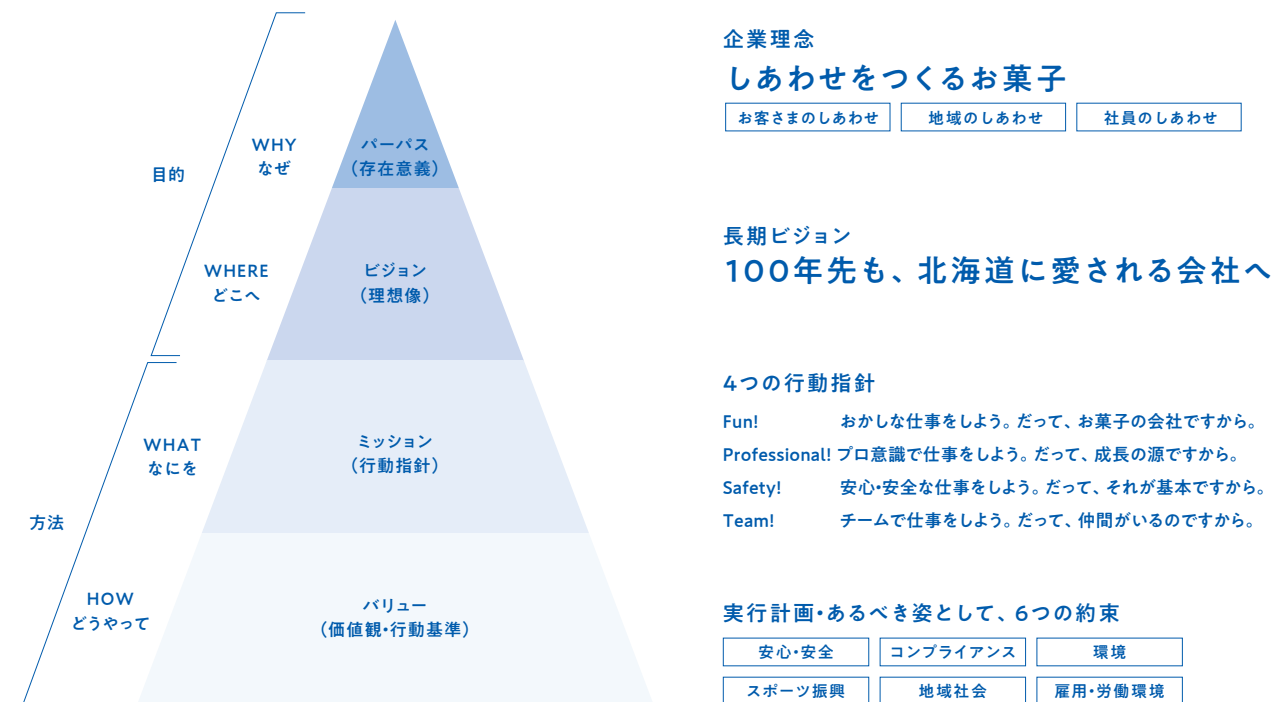
経営方針 1	北海道に寄り添い北海道を広める	09
経営方針 2	日常の中の非日常のお菓子を届ける	11
経営方針 3	地域とともにオンリーワンな白い恋人パークにする	13
経営方針 4	改善ラッシュで効率アップ	15
経営方針 5	日本一失敗できる会社にする	17

ダイバーシティストーリー	19
ISHIYA SUSTAINABILITY ACTION	21
LCAの取り組み	23
ISHIYA HISTORY	25
数字で見るISHIYA	27
SDGs取組表	29



このレポートは、表紙を除く全てのページに、
古紙パルプ配合率60%再生紙と、環境に
優しい植物油インキを使用しています。

ISHIYA CSR MESSAGE



ビジョンを実現するための
2026年度(2027年4月)までの中期経営計画スローガン

「Stand By Hokkaido」

北海道を原点としたブランドの確立

これらの考え方と行動が
SDGs(持続可能な開発目標)の達成につながっています。



大きな節目を前に、 新たな進化を目指して

ISHIYAグループは2026年に「白い恋人」発売50周年、2027年に石屋製菓創業80周年を迎えます。この節目を前に私たちは現在いくつかのプロジェクトを進めています。スピード感を持って実現するもの、時間をかけてゆっくり醸成していくもの、内容はさまざまですが、すべてに共通しているのは中期経営計画のスローガン「Stand By Hokkaido」であり、「100年先も、北海道に愛される会社へ」という長期ビジョンに向けて日々前進を続けています。

2024年に実現したプロジェクトの1つに5月にオープンした「西の町いこいの駅 Route148(ルートイシヤ)」があります。以前からお客さま・地域・ISHIYAの接点となる場所をつくりたいと計画していたもので、小さなお子さまが寒い季節も安心して遊べる場所であり、イベントの開催や地域の観光案内、もちろんおいしいお菓子をご提供できる、身近で多様な地域交流拠点として大切に育てていきたいと考えています。新しい挑戦としては、7月にグループ企業の株式会社 GOURMAND ISHIYA(グルマン イシヤ)を設立し、新工場の建設を進めています。完成は2026年の予定で、グループ全体のフードインフラの役割を担い、おにぎりやお弁当に使う米飯をはじめ、「白い恋人」など和洋菓子の半製品を製造し、商品のさらなる需要増加に対応する製造能力の向上と安定供給を目指しています。2024年に新発売した「白い恋人 ロールケーキ」や、バウムクーヘンなど、ISHIYAグループが自信を持ってお届けする商品たちを力強く支える存在になるはずです。

グループ全体の動きでは、大きな節目に合わせてあらためて原点に立ち返り、ブランドの再構築を行っています。私たちが目指す方向性は変わりませんが、ISHIYAグループとしてステークホルダーの皆さまに明確にお伝えし、それに向かって突き進んでいくことが目的です。

石屋製菓株式会社・石屋商事株式会社

代表取締役社長

石水 創

ISHIYAグループの3つの新事業として、1つは従来までも力を入れてきた北海道の一次産業への支援や協働を含めたフードインフラ事業、次に原料を購入し、製造・加工し、流通するフードサプライチェーン事業、最後に「食」を通じてお客さまに楽しさや幸せをお届けするフードエンターテインメント事業があります。これらは今までも取り組んできた大きな3本柱ですが、北海道の「食」にかかわる企業として、今後はさらに一貫通貫で表現していきたいと思っています。

Stand By Hokkaido

私たちは、北海道のそばに。

これからのISHIYAグループの進化を、
ぜひ楽しみにしていただけますと幸いです。



いつも北海道のそばに

Stand By Hokkaido

ISHIYAグループは「北海道に誇れるISHIYAブランド」に立ち返し、販売拠点や方法の見直しを続けてきました。北海道を原点としたブランドの確立を目指し、これからも地域社会の一員として、北海道の発展に貢献してまいります。

Stand By Hokkaidoを実現する 5つの経営方針

- Stand
By
Hokkaido 1 北海道に寄り添い
北海道を広める
- Stand
By
Hokkaido 2 日常の中の非日常の
お菓子を届ける
- Stand
By
Hokkaido 3 地域と共にオンリーワンな
白い恋人パークにする
- Stand
By
Hokkaido 4 改善ラッシュで
効率アップ
- Stand
By
Hokkaido 5 日本一失敗できる
会社にする



地域にふれる。
心がうごく。
北海道から
もっとしあわせな
シーンを。



私たちがどのように考え、行動しているのか。
5つの経営方針に基づいて、活動をご紹介します。 ➤

ISHIYA PRESENT AND FUTURE

現状とこれからを話したら、
ワクワクした未来が見えました。

地下鉄宮の沢駅、ISHIYA本社、白い恋人パークをつなぐRoute(道)上に
オープンした「西の町いこいの駅 Route148(ルートイシヤ)」。
お客さまのしあわせ、地域のしあわせ、社員のしあわせが会うこの場所で、
それぞれの視点からStand By Hokkaidoを考えました。

石水:「Stand By Hokkaido」はISHIYA
中期経営計画全体を貫くスローガンで、そ
れを支えるのが5つの経営方針です。1つ目
の方針「北海道に寄り添い北海道を広め
る」について、例えばコロナ禍の前後で変
わった点はありますか。

山田:以前と比べて、北海道らしさを強調し
た新商品を発売しています。道内7空港限
定アソート「ISHIYA北海道エアポートセレ
クション」もその1つで評判も上々でした。

石水:コロナ禍前に戻るのではなく、より良
い進化をしたいですね。

米山:製造部門はこれまで以上に北海道産
の原料使用に積極的に取り組んでいます。
道産小麦はかつて菓子製造に適さない性

質もありましたが、品種改良が進んだほか、
「白い恋人」専用の小麦粉開発などの成果
もあり、納得の仕上がりになっています。こ
れからも北海道の素材を生かし、その素晴ら
しさを広めたいと思います。

石水:2つ目の「日常の中の非日常のお菓子
を届ける」は、グループ企業のサザエ食品で
は少し違う部分もあると思います。出向2年目
の郡司さんはどんな違いを感じていますか。

郡司:採用面接をすると皆さんが「昔から食
べています」「いつも買っています」と言っ
てくださり、それが道内だけでなく道外出身の
若い学生さんもいて、幅広い年代の方から
日常的に愛されていることを実感します。

川口:白い恋人パークへ来られる地元のお

客さまは、日常の延長ではありますが、非日
常の異空間を楽しみに来てくださっていると
思います。特に秋のハロウィンイベントは
1年で1番長い行列ができるほど地元に着
着しています。

石水:すでに3つ目の「地域と共にオンリー
ワンな白い恋人パークにする」に話が及ん
でいますが、今後の目標は何でしょうか。

川口:今も他にはないオンリーワンの施設に
なっていると思います。近年はスタッフの
「楽しませようとする力」がすごく伸びました。
これはどんなポジションにいても企画が出せ
る体制と、どんな意見も否定しない社内の
雰囲気があるからだと思います。今後はお
子さまが小さい時期はもちろん、いつでも何

代表取締役社長
いしむす はじめ
石水 創

より良い進化を
するために



北海道らしさが
評価されています



営業部
特約店チーム
やまだ たかゆき
山田 貴之

どんな意見も否定しない
社内の雰囲気



パーク事業部
マネージャー
かわぐち みほ
川口 美佳

サザエが愛されている
ことを実感します



サザエ食品
人事総務部
くさう まこと
郡司 真純

この仕事と仲間が
好きだから



宮の沢工場
マネージャー
みやざわ けんじ
米山 優一

あのとき、大変だったのに
すごく生き生きしていたね。



社長と社員の距離が
近く、本当に笑いの絶
えない対談でした

度でも足を運んでいただける施設にすること
が目標です。

石水:何でも言える環境は大切ですね。
「改善ラッシュで効率アップ」も、この1年
間で1,600件もの改善提案がありました。

郡司:サザエ食品でも提案を募集していますが、まだ「誰か先に出してくれないかな」と
探っている雰囲気があります。でも改善の動
きはいろいろな場面にあり、私が最初に担当
した大きな業務は制服の管理ですが、その
中で新しくレンタルクリーニング業者と契約
し、在庫管理もすべて委託するように変更
し、衛生面の向上や管理業務時間の効率
化につながり、スタッフも喜んでくれました。

山田:営業部でも改善提案が激増していま

す。評価されるとモチベーションが上がり、い
い循環ができていると思います。

石水:うれしいですね。最後に「日本一失敗で
きる会社にする」についてはいかがですか。

米山:私は製造部門に来てすぐ商品2,500
ケース分のパッケージを全部手で開け、不
良品を選別しなければいけないトラブルに
直面しました。製造経験が長い方でも極め
て稀な失敗を、早い段階で経験できて今は
よかったと思っています。それをきっかけに自
動判別システムを導入する計画が生まれ、
もっと大きなトラブルを未然に防ぐことにつ
ながりましたから。

石水:あの時、苦勞している米山さんを励ま
そうと声をかけたら、すごく生き生きしていまし

たよね。なぜあんなに元気だったんですか。

米山:多分、ISHIYAという会社が好きだか
らです。どの部署で何をしても、この仲
間となら乗り越えられるし、頑張ろうと思いま
す。落ち込んでなどいられません。

山田:私も失敗を恐れず頑張ろうと思いま
す。営業部は特約店さまとの業務ですか
ら、売り場をガラッと変える提案や季節商品
の入れ替えなどチャレンジしなければ、特約
店さま、そしてお客さまにも楽しんでも
いけないと思っています。今後も多くの方々と
連携し、次世代へ続く商品を生み出したい
と思っています。

石水:皆さんの失敗とそれをを超える挑戦を楽し
みにしています。ありがとうございました。

北海道に寄り添い 北海道を広める

北海道でISHIYAをもっと身近に
感じられる場をこれまで以上に増やし、
お客さま、地域、社員が
もっと笑顔になれるように
北海道の魅力を広く発信できるように
ISHIYAはこれからも前進します。

6つの約束

- 安心・安全
- コンプライアンス
- 環境
- スポーツ振興
- 地域社会
- 雇用・労働環境

スポーツを通じて子どもたちに
夢や希望を与える

北海道・地域社会に
様々な形で貢献する



北海道コンサドーレ札幌 アウェイ戦のパブリックビューイング



従業員向けにバースデーパーティーを毎月開催

取り組み.1 地域社会

地域の方々、従業員の 交流と憩いの場を目指して

札幌市西区宮の沢に新業態施設「西の町いこいの駅 Route148(ルート イシヤ)」をオープンしました。子育て世代や地域住民等の皆さまの交流や憩いの場として、居心地の良いスペースを設けているほか、毎月様々なイベントを開催しています。また会話のお供として食べやすいジェラートや人気商品「アイガトー」を手作りした「窯出しアイガトー」などの焼き菓子の販売等も行っています。北海道コンサドーレ札幌のアウェイ戦のパブリックビューイングや、毎週火曜日と金曜日には子育てサロンを開催しています。また、地域の方々向けの会合やイベント会場としてもご利用いただいている他、社内の接客コンテストや従業員向けバースデーパーティーなど福利厚生施設としても活用されています。

取り組み.2 スポーツ振興

スポーツを通じて、 健康的な社会生活を

従業員の健康増進やスポーツ振興を目的として、国内最高峰のバドミントンリーグS/Jリーグに所属する北海道コンサドーレ札幌バドミントンチームの選手によるバドミントン教室を定期的に開催しています。教室では、日常的に家庭でもできるトレーニングの指導から始まり、「マジコース」「ライトコース」「キッズコース」の3コースに分けて、子どもや初心者から腕に覚えのある経験者まで、従業員とその家族と一緒に楽しめる内容となっています。キッズコースでは準備体操として鬼ごっこから始まり、選手との打ち合いや、シャトルを使用したゲームなどを行い、ライトコース、マジコースでは選手から一人ひとりに打ち方や足の踏み込み方など細かな指導を受けました。

選手との交流の場にも
なっています



日常の中の非日常の お菓子を届ける

いつもの暮らしの中で
「今日も頑張ろう」と思えたり
ちょっと頑張った自分への
ごほうびになったりする。
そんな非日常のお菓子を
お届けするために
いろいろな知恵を絞っています。

6つの約束

- 安心・安全
- コンプライアンス
- 環境
- スポーツ振興
- 地域社会
- 雇用・労働環境

北海道・地域社会に
様々な形で貢献する

だれもが安心して働ける
職場にする



働きやすさと 多様性に配慮



ファッションデザイナー相澤 陽介氏(右)

取り組み.1 雇用・労働環境

従業員のしあわせを つくる制服

直営店の従業員が着用する制服をリニューアルしました。毎日着ている従業員が「今日も頑張ろう、お客さまのしあわせをつくろう」と生き生きと働いてほしいという想いが込められています。ファッションデザイナー相澤 陽介氏がデザインしたもので、機能性・多様性・日本のブランドらしさをキーワードにデザインされています。
バックヤード作業などでも動きやすいこと。女性が多いので日々着用する高揚感を醸成できること。そして和装から着想を得たワンピースの前の重なり具合でゆったりしたサイズ感にしていること。この3つを融合することによって、新しいISHIYAの顔をつくっています。

取り組み.2 雇用・労働環境 地域社会

「日常」に寄り添って 「非日常」を提供

ISHIYAのお菓子は土産やギフトとして多くのお客さまに親しまれていますが、もっと皆さまの「日常」に寄り添ってお菓子を食べていただける機会を提供したいと考えています。皆さまの「日常」にもっと近づきながら、その中でも「非日常」を感じられる少し特別なお菓子でありたい。気軽に買って食べてもらいたいという想いがあります。
そのような想いを実現するための「日常の中の非日常」をコンセプトとした商品企画案を全従業員から募集しました。約1ヵ月の募集期間で61件のアイデアが集まり、社内選考が行われました。グランプリに輝いた商品は2025年に期間限定で発売される予定です。

お客さまに本当に 喜ばれるものを



「自分の考えたお菓子が発売されることに責任感を感じています。誇れるようなお菓子上に仕上げていこうと思います」と語る、グランプリに輝いた情報システムチーム 今 俊太郎さん(写真左から2番目) ※商品は試作段階のため形状等が変更される予定です。

地域と共にオンリーワンの 白い恋人パークにする

白い恋人パークを中心として
地域の皆さまと一緒に
このまちをさらに魅力的に
他のどこにもない存在にすることを目指して。
そして、世界中からこのまちへ
たくさんの人々が訪れることを願って。



6つの約束

- 安心・安全
- コンプライアンス
- 環境
- スポーツ振興
- 地域社会
- 雇用・労働環境

スポーツを通じて子どもたちに
夢や希望を与える

北海道・地域社会に
様々な形で貢献する

また開催してほしい！
地域の声有形に



会場となった白い恋人パーク隣の西区宮の沢ふれあい公園

取り組み.1 地域社会 「オール西区」で まちづくり

札幌の初夏を彩るYOSAKOIソーラン祭りの会場運営をお手伝いしています。コロナ禍以降、中止していた札幌市西区宮の沢会場を地域の方々と共に5年ぶりに復活させました。ISHIYAグループの社員をはじめ、西区よさこい実行委員会、にじのいる保育園の関係者、そして宮の沢の地域の方々が一緒になった、まさに「オール西区」で作り上げた会場です。祭り期間中は札幌市内数カ所に会場が設置されますが、西区では唯一の会場ということもあり、復活を待ちわびていた多くの地域住民の方々にお越しいただきました。



新入社員も会場運営に携わり
地域住民と交流を深めました。

取り組み.2 スポーツ振興 地域社会 「居心地が良く歩きたくなるさっぽろ」を目指して

宮の沢ふれあい公園で西町地区夏祭り・盆踊り実行委員会が主催する「第6回コンサタウンふれあいフェスタ」の会場運営に協力しています。白い恋人パークと宮の沢白い恋人サッカー場の間の通りを歩行者天国にして、ISHIYAの社員が緑日などの運営をしました。札幌市では歩行者にとって居心地が良く歩きたくなるまち「ウォーカブルシティ」の実現に向けて取り組んでいます。宮の沢もモデル地区の一つになっており、歩行者天国もその取り組みの一つです。

ISHIYA
Sustainable
Stories

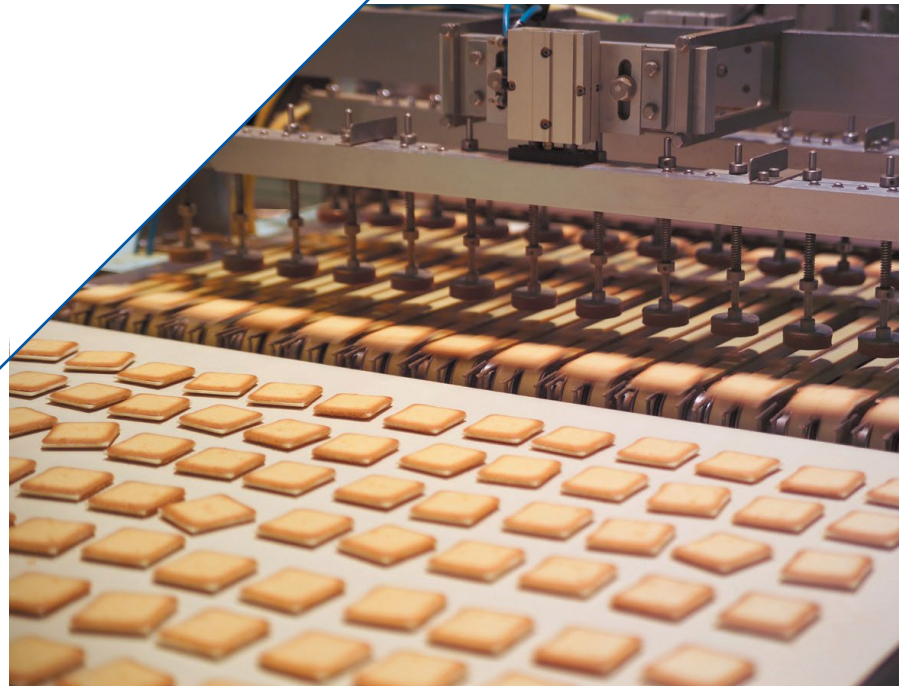


歩行者天国で緑日の運営を
お手伝いしました



改善ラッシュで 効率アップ

ISHIYAの工場で生まれた
社員からの「改善提案」は、
他のすべての部門に広がって
改善内容も多岐にわたり、
全社的な取り組みとなりました。
あらゆる業務において
「今よりもっと良く」を
心がけています。



6つの約束

- 安心・安全
- コンプライアンス
- 環境
- スポーツ振興
- 地域社会
- 雇用・労働環境

法律や倫理を遵守する
コンプライアンス体制の確立

環境負荷を軽減する取り組みで
持続可能な製品づくり

お客さまに接するすべての
従業員への法令遵守教育



取り組み.1 **コンプライアンス**

サービススタッフ
SSガイドブックで

安心・安全なサービスを提供

ISHIYAでは、お客さまに接するすべての従業員が法令や社内規程を遵守して行動し、お客さまにより良いサービスを提供できるよう「SS(サービススタッフ)ガイドブック(リスク編)」を発行しました。本ガイドブックでは、個人情報保護やカスタマーハラスメントの予防など、お客さまとのコミュニケーションにおける様々なリスクへの対応策を具体的に示しています。店舗に備え付けて毎月の巡回で理解度を確認し浸透を進め、実践可能な体制を整備することにより、お客さまの信頼を得られるよう努めています。今後も、より一層の安心・安全なサービスの提供を目指し、法改正や新たなリスクに応じて随時更新してまいります。



従来の紙袋(左)、軽量化された紙袋(中央)
持ち手が無色になった現行の紙袋(右)

インク使用量と森林認証紙を
採用したダンボール

取り組み.2 **環境**

「白い恋人」の包装資材は サステナブルパッケージへ

「白い恋人」の包装紙と特約店さまなどに納品する際のダンボールを森林認証紙へ切り替えました。ダンボールについては白地から無地へ変更し製造時におけるインクの使用量が削減されています。
また、一部の手提げ袋の厚みも見直し、100g/m²から80g/m²に軽量化することで、強度は保ちながら年間約13トンの紙使用量の削減を見込んでいます。
「白い恋人」の環境配慮素材の採用は、2009年のバイオマストレーから始まり、15年をかけてすべてのパッケージで達成しました。これからも継続的な改善を推進していきます。



日本一失敗できる 会社にする

ISHIYAで働くすべての人が
自分の意思で考えて
失敗を恐れず
新しいチャレンジができること。
たとえ失敗しても、
次の成功につなげられること。
そのための仕組みづくりを
続けています。



6つの約束

- 安心・安全
- コンプライアンス
- 環境
- スポーツ振興
- 地域社会
- 雇用・労働環境

だれもが安心して働ける
職場にする

失敗を恐れず
チャレンジした
社員を表彰



取り組み.1 雇用・労働環境

みんなが主役のモチベアップの イベント「ISHIYA総会」

「未来に向け会社のことを正しく知り、社員のモチベーションアップ」をテーマに、社員が一堂に集まるイベント「ISHIYA総会～みんなで創るISHIYAの未来～」を年一回開催しています。失敗を恐れず多くの改善に取り組んだ社員の表彰や、経営幹部による対談などISHIYAが丸となる風土を醸成しています。また、普段はあまり会えない他部門の社員との交流の場ともなっています。

参加した社員は
充実感がいっぱい

取り組み.2 雇用・労働環境

失敗を恐れない文化を醸成する チャレンジングな社内イベント

「ありがとうと言ってもらえる接客で、お客さまのしあわせサポート日本一」を合言葉に、基本接客、コミュニケーション力、販売力、そしてサービスマインドを競う社内コンテスト「ISHIYA CS AWARD」を毎年開催しています。接客のベテランから初心者まで毎年10名以上の社員がエントリー。接客の得意・不得意に関わらずチャレンジしたことを賞賛する雰囲気社員のモチベーションアップにつながっています。



健康的なメニューで楽しい
ランチタイム（北広島工場）



健康経営優良法人2024中小規模法人部門（ブライト500）認定証

取り組み.3 雇用・労働環境

健やかな生活で 生産性もアップ

石屋製菓株式会社と石屋商事株式会社は、日本健康会議より「健康経営優良法人2024」に認定され、上位法人「ブライト500」にも選出されています。社員食堂での健康増進メニューの提供や年間を通じた社内の部活動の運営、スポーツイベントを通じて健康増進に取り組んでいます。



DIVERSITY STORY

わたしのダイバーシティストーリー

パーク事業部
飲食チーム
チョコレートラウンジ・
オックスフォード

ふるせ きぬえ
古瀬 絹枝



2001年5月から、レストランのおうずでパートとして厨房業務を担当。2007年11月に社員となり、おうず店長、カレーレストラン・あんるとるばー勤務などを経て、チョコレートラウンジ・オックスフォードへ。2017年に調理師免許資格を取得。

「ISHIYAが好き」、 その理由は……？

——入社のかきかけと現在までの道のりを教えてください。

古瀬:自宅が白い恋人パークの近くで、子どもの小学校入学を機に働き始めました。こんなに長く勤めるとは思っていませんでしたが、経験を積むうちに仕事が好きになり、ISHIYAという会社が好きになって、そこに携わっている自分も大好きで、定年を迎えましたが、再びパート契約で働いています。

北林:私は食べることが好きで食品関係の仕事がしたかったことと、ISHIYAのお菓子も白い恋人パークの雰囲気も大好きで、魅力を伝えたいと思って入社しました。白い恋人パークの飲食チームでいくつかの店舗を経験し、販売にも興味があり、2022年からアリオ札幌で勤務しています。

——二人とも「ISHIYAが好き」なんです。なぜそう思うのでしょうか？

古瀬:会社の福利厚生が充実して働きやすいこともありますが、社長の身近で親みやすい人柄や、会社の方針や考え方を直接伝えてくれる姿勢がとても心強く、共感できる場所でしょうか。

北林:会社の方針として自分でやりたいと思う人が活躍できるようリーダーの立候補制度があり、私もせっかくなので挑戦したいと思い、店長に立候補しました。いつか自分も「誰でも挑戦できる職場」をつくる側になれたらと思います。あとは、ISHIYAにいる人の「温かさ」が居心地の良さにつながっていると思います。上司やスタッフも誰でも話しやすく、困ったことは助け合う雰囲気が、どの部署でも感じられる点が大きいです。

ダイバーシティって、
なんですか？

みんながいるから
強くなるってこと。



ISHIYAでは様々な個性をもつ人材が

お互いを尊重し、能力を生かして活躍できる組織づくり、
環境づくりを進めています。

従業員一人ひとりがどんな職場で、

どんな気持ちを大切に、どんな目標に向かっていているのか。

入社時期もキャリアも違う二人が語り合いました。

ISHIYAアリオ札幌
店長

きたばやし まゆ
北林 真優



2018年入社。パーク事業部飲食チームを経て販売部へ。2022年からISHIYAアリオ札幌に勤務。2023年4月に立候補により同店店長に就任。2024年10月に日本ショッピングセンター協会「SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会」食品・飲食・サービス部門で準優勝を獲得。

話すこと、 聞くことを大切に

——仕事をする上で、心掛けていることはありますか？

古瀬:毎朝スタッフみんなに声をかけています。少し落ち込んでいる人がいたら、「大丈夫?何でも聞いよ」と話しかけるようにして。

北林:古瀬さんは職場のお母さんの存在で、私もかつて何度も話を聞いていただき、いつも慰められて的確なアドバイスをもらっていました。

古瀬:自分の娘や息子みたいな感じで、つい母親口調になっちゃうのかな。みんなに成長してほしいので、言わなければいけないことは時には厳しく伝えるようにしています。

北林:私も店舗でスタッフと時間があればマシンガントークでたくさん話をしています。そのおかげでみんなが共通認識を持って仕事ができ、誰かがいないときも支え合う体制ができていると思います。

——今後の展望を教えてください。

北林:今回「SC接客ロールプレイングコンテスト」に出る前は、どうなることかと緊張していましたが、普段の接客の延長線を評価してもらい、自信につながりました。これから接客の指導をする際にも役立てられたらと思います。また、コミュニケーションを取るのはおそろしく得意な方なので、それを職場の環境づくりにも生かしていきたいです。

古瀬:これまで自分が培ってきたスキルを若いスタッフに少しずつでも伝え、自分がいなくなっても「そういうば古瀬さんが言ってたね」と思い出してもらえるような仕事をしたいと思っています。

ISHIYA SUSTAINABILITY ACTION

イシヤ サスティナビリティ アクション

ISHIYAのサスティナビリティ推進チームが
社内外の様々な場面でどのようにSDGsへの貢献が
行われているかを探ってきました。
新しくチャレンジした活動も多く、
今後さらなる発展を目指しています。



社長室
広報CSR推進チーム&
サスティナビリティ推進チーム
地域連携チーム リーダー
よしだ あゆみ
吉田 歩

社長室
広報CSR推進チーム
エキスパート&
サスティナビリティ推進チーム
リーダー
かめむら たけみ
亀村 建臣

地域密着型の
観光案内施設
Route148にて
コーヒーとジェラート
片手に打ち合わせ。
地域とともに
社内と社外を
ゆるやかにつなぐ。



会場となった
Route148

誰一人取り残さない 社会にするために

11月は北海道が定めた「ケアラー支援推進月間」。
北海道社会福祉協議会・ケアラー支援推進セン
ター、北星学園大学社会福祉学科、藤女子大学、武
蔵野女子短期大学の学生、(株)らむれす、ISHIYAが
協働でヤングケアラーについて理解を深めてもらうイ
ベントを開催しました。学生が主体となり、ヤングケア
ラーや子ども食堂の活動に関する講演、福祉用具の
展示や体験など行いました。



イベントを実施した
チーム「ふらほっと」の
学生の皆さん



10月15日から3日間
ライトアップしました。

からくり時計塔を グリーンライトアップ

臓器移植に向き合う機会を通じて、その思いを確かめ
行動を促す「#グリーンリボンキャンペーン」に協力し、
白い恋人パーク内のからくり時計塔をグリーンにライト
アップしました。このライトアップには、ドナー（臓器提供
者）への感謝に加え、移植を待つ人々、移植医療を支
える医療者等へのエールの意味が込められています。



さっぽろオータムフェスト



ライジングサン
ロックフェスティバル
2024

北海道に寄り添い 北海道を広める

道内最大級の野外音楽イベント「ライジングサンロ
ックフェスティバル」や、北海道の味覚が集結し200万
人以上が訪れるグルメイベント「さっぽろオータムフェ
スト」に出店しています。スイーツを通じて北海道民や観
光客とのタッチポイントを増やすことで北海道の食を
応援しています。



北海道の豊かな食の魅力を 発信するイベント

「さとらんどアグリフェスティバルALL HOKKAIDO食の
学校祭」を札幌市東区のサッポロさとらんどで開催しま
した。ISHIYAグループの(株)150Fプランニングが主催
し、北海道の農業高校生・大学生たちが日頃の学びの
成果を発表し、一般消費者の方々に情報発信すること
で、農業理解者を増加させ、農業後継者の確保へ寄
与することを目的としています。



SDGs経営表彰で 総合賞

札幌商工会議所が主催する「令和5年度 札幌商工
会議所SDGs経営表彰」で総合賞を受賞しました。過
去の問題を教訓に「CSR活動における6つの約束」を
宣言し、形式的なものではなく、組織的、制度的に整備
して実践し、成果として情報発信をしていることが評価
されました。

Life cycle assessment LCA

ライフサイクル アセスメントの 取り組み

2024年1～12月



物流システムの改善で CO₂の削減

チャーター便の活用や物流拠点の見直しを進め、スコープ3カテゴリー4「輸送・配送（上流）」において年間約70tのCO₂削減を見込んでいます。^{※2}
また北海道産の原材料を使用することで、海外から輸入する場合と比べ輸送時のCO₂排出削減にもつながっています。

電力使用によるCO₂排出 実質ゼロの継続とソフト面での 改善で省エネを推進

2023年12月から使用する電力は実質再生可能エネルギーを採用し、当社敷地内の全施設でCO₂排出実質ゼロを継続しています。北広島工場ではロードヒーティングの設定温度と融雪状態の評価試験を実施し、最適な設定値に基づいてLNG消費量の削減をしています。また、宮の沢工場内の焼き菓子工場においても空調熱源用の冷水ポンプの送水時間の評価試験を実施し、最適な設定値で電力消費量を削減しています。生産量の増加に伴い「白い恋人」主原料の仕入量は前年比123%になりましたが、省エネを推進した結果、CO₂排出量は前年比100.4%に留めています。
2024年5月にオープンした「Route148（ルートイシヤ）」も2024年10月より、実質再生可能エネルギー由来の電力を採用しCO₂排出実質ゼロのコミュニティスペースとして運用しています。

※1）算出範囲 宮の沢地区：白い恋人パーク、宮の沢工場、本社事務所棟（宮の沢白い恋人サッカー場、Route148除く）、北広島地区：北広島工場

製品には、資源調達から輸送、製造、消費、廃棄やリサイクルまでといった一生があります。
その一生において、環境への影響を定量的に評価する方法がライフサイクルアセスメント（LCA）です。
ISHIYAは、それぞれの段階でどのような改善ができるかを考えながら、ライフサイクル全体での環境負荷の低減とともにサステイナブルな取り組みを続けます。



1 原材料・エネルギー

北海道産原材料を使用

「白い恋人」に使用している小麦粉、砂糖、生クリームは北海道産100%です。地域の一次産業の発展に貢献しています。

●「白い恋人」主原料の仕入量（インプット）（単位：t）

	小麦粉	油脂類	砂糖	チョコレート	合計
宮の沢地区	219	158	115	285	777
北広島地区	462	337	544	227	1,570
合計	681	495	659	512	2,347

注）小数点以下四捨五入

●エネルギー使用量（インプット）^{※1}（単位：原油換算（kℓ））

	電力	LNG	都市ガス	a) 合計
宮の沢地区	1,252	—	738	1,990
北広島地区	2,166	1,860	—	4,026
合計	3,417	1,860	738	6,015

レギュラー	軽油	灯油	b) 合計
12	12	11	35

(a+b)使用量合計 6,050

営業活動等に使用した車両および施設運営の暖房等に使用した燃料（輸送に関する燃料使用量を除く）
注）小数点以下四捨五入

3 製造

●CO₂排出量（アウトプット）^{※1}（単位：t-CO₂）

	電力	LNG	都市ガス	a) 合計
宮の沢地区	30	—	1,456	1,486
北広島地区	—	3,565	—	3,565
合計	30	3,565	1,456	5,051

レギュラー	軽油	灯油	b) 合計
30	32	29	91

(a+b)排出量合計 5,142

営業活動等に使用した車両および施設運営の暖房等に排出されたCO₂（輸送に関する燃料使用量を除く）
注）小数点以下四捨五入



宮の沢工場



製品の一生を通じた環境への影響を評価します。

インプット
天然資源・
エネルギーなど

アウトプット
CO₂・
廃棄物など



6 リサイクル

排水汚泥回収の見直しによる削減

排水汚泥の回収頻度の見直しにより、汚泥の回収量が前年より約45t（前年比約25%）削減されました。

●廃棄物・リサイクル量（アウトプット）^{※1}

	廃棄物		リサイクル		
	プラスチック	汚泥	軟質ビニール	雑紙	食品残渣
宮の沢地区	502㎡	73t	261㎡	139t	83t
北広島地区	147㎡	62t	371㎡	158t	186t
合計	649㎡	135t	632㎡	297t	269t

注）小数点以下四捨五入

分別の徹底と資材の 見直しを検討

2022年よりプラスチック廃棄物の削減に取り組み、分別の徹底や原材料納入時の梱包資材をリサイクル可能なものにするための検討を重ねています。



ビニールエプロン

4 消費

プラスチック削減の取り組み

「白い恋人ホワイトチョコレートプリン」に付属されているスプーンを2024年10月よりバイオマスプラスチックに変更しています。また、白い恋人パーク内の「スイーツワークショップ・ドリームキッチン」でお客さま向けに使用しているエプロンについても2024年10月よりプラスチック製から紙製に変更しました。お客さまへの利便性を高めながらプラスチック削減も継続して進めています。



白い恋人ホワイトチョコレートプリン

※2）算出方法 1台あたりの月間CO₂排出量約2.9t×2台×12ヵ月÷年間70t

ISHIYA HISTORY

1947年創業から現在までの歩みをご紹介します。

ISHIYA ヒストリー

1947 昭和22
◎ 石水幸安が札幌市(現北区茨戸)にて政府委託のてん粉加工業を創業



創業当時の従業員

1948 昭和23
◎ ドロップス製造開始
お菓子はまだ貴重品で、「きなこねじり」や「たんきりあめ」などが飛ぶように売れる

1957 昭和32
◎ 生菓子製造開始
高度経済成長期に入り、世間はいいものを求めるように

1959 10月 昭和34
札幌市東区北9条東8丁目にて「石屋製菓株式会社」設立。代表取締役社長石水幸安
この頃から洋菓子への転換を図る



1959年東区の本社工場

1982 5月 昭和57
札幌市西区宮の沢に第2工場(手稲工場)を増設

1986 9月 昭和61
「白い恋人」スイス・モンドセレクションゴールドメダル受賞



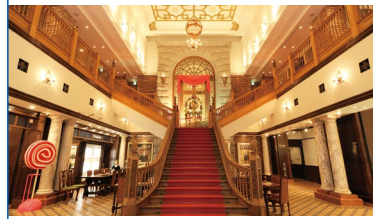
スイス・モンドセレクションゴールドメダル

1988 11月 昭和63
「愛すBoy雪だるまくん」発売



愛すBoy雪だるまくん

2003 9月 平成15
◎ チュダーハウスオープン
◎ 「石屋商事株式会社」設立
◎ イシヤ・チョコレートファクトリーの総称を「白い恋人パーク」とする
◎ 「白いロールケーキ」発売



チュダーハウス

2005 2月 平成17
「美冬(みふゆ)」発売



2007 8月 平成19
衛生・品質管理の問題により製造・販売を自粛
11月 コンプライアンス体制の改善を経て製造・販売を再開

2001~

1991~

1992 6月 平成4
札幌市西区宮の沢に新社屋・工場完成

1995 6月 平成7
イシヤ・チョコレートファクトリー(現 白い恋人パーク) グランドオープン

1996 平成8
◎ コンサドーレ札幌(現北海道コンサドーレ札幌)とスポンサー契約締結

1997 11月 平成9
「白い恋人チョコレートドリンク」発売

2000 8月 平成12
札幌からくり時計塔グランマイスター(現からくり時計塔)完成
10月 宮の沢白い恋人サッカー場完成



からくり時計塔とサッカー場

2008 1月 平成20
白い恋人パーク営業再開
8月 新ロゴマーク制定
12月 猫のキャラクターの名前を「ブルミとラムル」に決定

2009 1月 平成21
白い恋人パーク 有料入館者300万人達成



300万人目の入場者と島田社長(当時)

3月 白い恋人、美冬(みふゆ)、クッキー・クーベルチュールチョコレートの3施設で札幌市食品衛生管理認定制度取得

8月 「白い恋人」にバイオマス素材のトレーを採用

12月 「白いバウムTSUMUGI(つむぎ)」発売
新たなヒット商品となる

2010 3月 平成22
新本社事務所棟完成



白いバウムTSUMUGI

2012~

2012 1月 平成24
「白い恋人」原料小麦を100%北海道産に変更
4月 白い恋人パークキャンディ・ラボオープン

2013 2月 平成25
「雪だるまくんチョコレート」発売
6月 札幌大通西4ビルに直営3店舗 イシヤショップ、イシヤカフェ、キャンディ・ラボオープン
7月 石水創代表取締役社長就任

2014 10月 平成26
フィンランド・ロヴァニエミ市と「石屋商事(株)・ロヴァニエミ地域開発(株) 業務協力に関する覚書」調印



石屋商事(株)・ロヴァニエミ地域開発(株) 業務協力に関する覚書調印式

2015 3月 平成27
サザエ食品株式会社の道内事業を承継

2016 6月 平成28
「プレミアムアイスクリーム」発売
9月 「北海道クリームシチューあられ」発売
10月 白い恋人パークに礼拝室完成

2020 1月 令和2
北広島工場(チョコレート菓子及びチョコレートの製造)が食品安全マネジメントシステムFSSC 22000取得



新入生に「白い恋人」を寄贈。鈴木知事へ目録を渡す石水社長

4月 道内新入生に「白い恋人」を寄贈
5月 「白い恋人」で北海道にエール! BOX販売
売上の一部を「エールを北の医療へ!」に寄付

6月 「白い恋人しあわせBOX」販売
食品ロス削減のため

8月 「白い恋人」化粧箱を森林認証紙に変更



森林認証紙に変更した「白い恋人」

2020~

2017 1月 平成29
本社管理部門及び宮の沢工場(チョコレート菓子及び洋菓子製造)が食品安全マネジメントシステムFSSC 22000取得
4月 道外初の直営店 イシヤ銀座オープン
7月 北広島工場完成
10月 石屋製菓(株)創業70周年



北広島工場

2018 1月 平成30
「恋するチョコレート」発売
9月 北海道胆振東部地震発生、白い恋人パーク全営業休止

2019 4月 平成31・令和元
イシヤ 新宿オープン
7月 SDGs推進チーム結成
7月 「イシヤバンケーキストロベリー」発売
9月 関西初の直営店 イシヤ心斎橋オープン
9月 道外初のカフェ イシヤ日本橋オープン



酪農学園大学との包括連携協定

2021 4月 令和3
道内7店舗目になる直営物販店 イシヤショップ アリオ札幌オープン

9月 石水勲名誉会長 永逝



10月 サザエ食品株式会社 代表取締役社長に石水創が就任

10月 北海道初のイシヤの3ブランドが揃う旗艦店舗ISHIYA札幌大通本店リニューアルオープン

2022 6月 令和4
「白い恋人」発売46周年キャンペーン開始

6月 アラブ首長国連邦(UAE)ドバイ首長国に「ドバイ・モール」店舗をオープン

2023~

2023 3月 令和5
健康経営優良法人(中小規模法人部門)に認定

4月 ISHIYA 全施設の電力使用におけるCO2排出実質ゼロを達成

5月 「ISHIYA イオンモール旭川駅前」オープン

8月 「白い恋人」化粧箱の留めシールを紙製に変更

2024 2月 令和6
令和5年度「札幌商工会議所SDGs経営表彰」総合賞受賞

3月 健康経営優良法人(中小規模法人部門)に認定。上位法人プライト500にも選出。

4月 直営店の制服をリニューアル

5月 西の町いこいの駅 Route148(ルートイシヤ) オープン

8月 北海道コンサドーレ札幌「絶対 J1 残留! 大応援」招待企画を開催



12月 美冬 20周年記念特設サイトオープン

12月 酪農学園大学と包括連携協定を締結

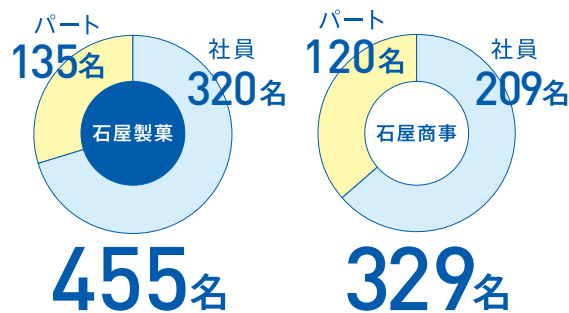
ISHIYA with NUMBERS

数字で見るISHIYA

石屋製菓と石屋商事の現在を、
様々な数字から読み解いてみました。
どんな姿が見えてくるでしょう。

従業員数

784名



社員の勤続年数



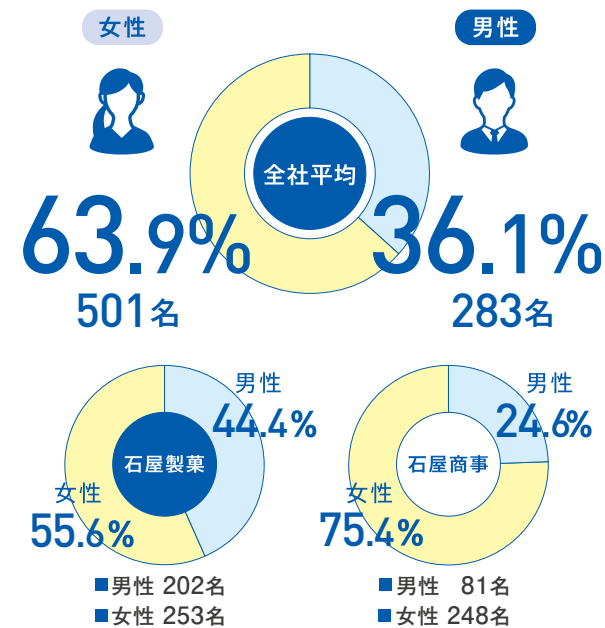
外国人の従業員数

15名



国籍に関係なく様々な人が活躍しています。多様性を大切にすることが企業の成長にもつながっています。

従業員の男女比



女性従業員が多いことがISHIYAの特徴の一つ。
男性・女性の区別なく能力を発揮しています。

社員の平均年齢

【全社平均】

37.4歳



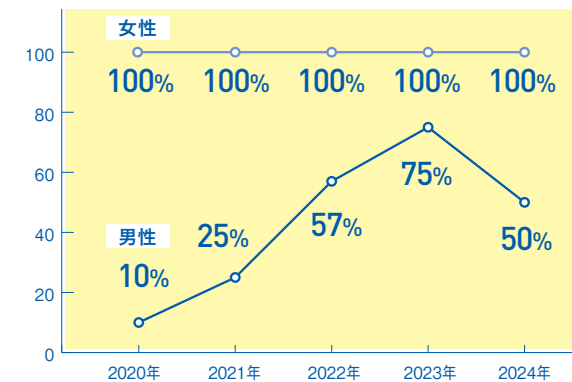
平均年齢が30代半ば～後半と若いこともISHIYAの特徴です。若手・中堅・ベテランがそれぞれの立場で活躍しています。

資本金



石屋製菓 3,000万円
石屋商事 3,000万円

育児休業取得率



年によって差がありますが、女性の育児休業の取得は社内で定着し、男性の取得も増えています。

道内直営店

SHOP 7店舗

■百貨店3店舗 ■白い恋人パーク
■札幌大通西4ビル ■アリオ札幌
■イオンモール旭川駅前

CAFÉ 1店舗

■北広島市役所

その他 4店舗

■22%MARKET3店舗
■いしや茶寮



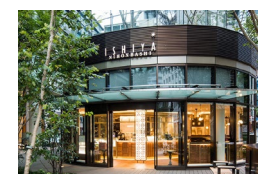
道外直営店

SHOP 3店舗

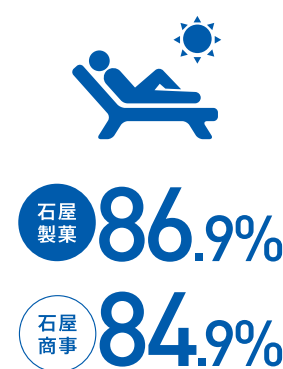
■東京2店舗 ■大阪1店舗

CAFÉ 1店舗

■いしや日本橋



有給休暇取得率



有給休暇取得率は年々増加し8～9割に達していますが、10割を目指して取り組みを行なっています。

全国免税店

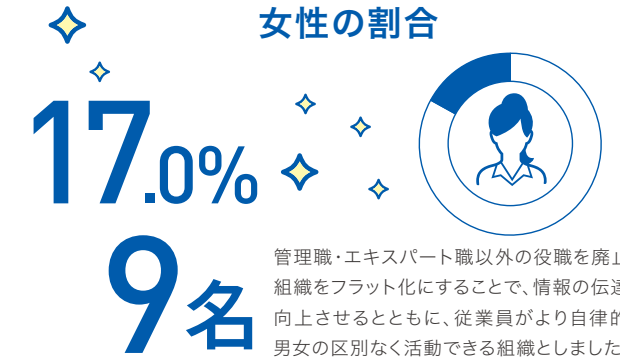
道内 4店舗
道外 約70店舗

道内特約店

約400店舗

ISHIYAの商品を販売してくださっている土産品店、小売店の数です。全道にネットワークが広がっています。

役職者に占める女性の割合



管理職・エキスパート職以外の役職を廃止し組織をフラット化することで、情報の伝達を向上させるとともに、従業員がより自律的に男女の区別なく活動できる組織としました。

安心・安全の取り組み認証数



宮の沢工場

北広島工場

グローバルな品質管理を行い、世界標準であるFSSC 22000を取得。安心して安全な製品をお届けしています。



「白い恋人」の小麦粉、砂糖、生クリームは北海道産(使用率)



地元の豊かな素材を使用することで、持続可能な北海道の農業に貢献しています。

関係会社

株式会社ISHIYAホールディングス
サザエ食品株式会社
十勝製餡株式会社
株式会社北海道150年ファーム等

SDGs ACTION

石屋製菓株式会社・石屋商事株式会社 SDGs取組表

2030年のあるべき姿、ゴールに向けて
ISHIYA 6つの約束それぞれに具体的な目標を定め
着実な取り組みを積み重ねています。



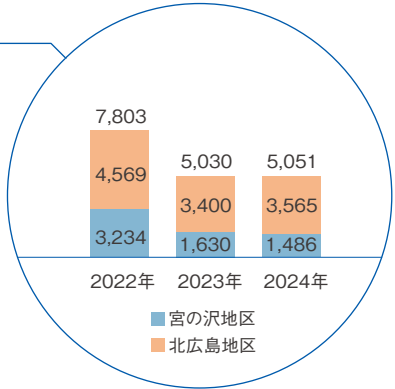
2024

ISHIYA

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ISHIYA 6つの約束		2030年のあるべき姿	2024年度の取り組み内容	SDGsへの貢献
約束 1 <i>Promise.</i>	安心・安全 商品製造すべての工程で 安心・安全を推進する	すべてにおいてグローバル スタンダードのスキームに 基づく菓子づくりをする	●全社で改善提案報告会を継続	8,9,12
			●「FSSC 22000」認証取得の継続	12
			●「美冬」製造時のチョコレート廃棄削減で食品ロスに貢献	9,12
			●「白い恋人ロール」外装の発砲スチロールをリサイクル可能に変更	9,12
			●SDGs経営表彰で総合賞受賞(P.22)	17
約束 2 <i>Promise.</i>	コンプライアンス 法律や倫理を遵守する コンプライアンス体制を確立	バリューチェーン全般において コンプライアンスを遵守した 事業活動が実行されている	●コンプライアンス研修の実施(サザエ食品、十勝製餡)受講率93.9%	4,8,16
			●産後/パパ育児休の推進	3,8
			●SS(サービススタッフ)ガイドブックの発行(P.16)	8,10,16
約束 3 <i>Promise.</i>	環境 環境負荷を軽減する取り組みで 持続可能な製品づくり	CO ₂ の排出抑制と廃棄物のリサイクルが 徹底され、すべての事業活動が 環境に配慮されている	●全施設で実質再エネ由来電力採用によりCO ₂ 排出実質ゼロを継続	7,13
			●工場廃棄物のリサイクル推進	12,14
			●機器の運転時間の見直しによるエネルギー抑制	7,13
			●汚泥の総量を減らす工夫により廃棄物の削減	12,15
			●規格外商品「ブルミとラムルのおすわけ」販売継続	2,12
			●「白い恋人」の包装紙と納品用ダンボールを森林認証紙に変更(P.16)	15
			●「白い恋人」の手提げ袋の軽量化(P.16)	15
約束 4 <i>Promise.</i>	スポーツ振興 スポーツを通じて子どもたちに 夢や希望を与える	すべての取り組みが北海道を軸とした グローバルかつ持続可能な 経済活動が実現できている	●北海道コンサドーレ札幌「サンクスマッチ2024」開催	11,17
			●北海道コンサドーレ札幌「絶対J1残留!大応援」招待企画を開催	11,17
			●北海道コンサドーレ札幌のオフィシャルトップパートナーを継続	11,16,17
			●北海道コンサドーレ札幌カーリングチームの支援を継続	11,16,17
			●北海道コンサドーレ札幌バドミントンチームの支援を継続	11,16,17
約束 5 <i>Promise.</i>	地域社会 北海道・地域社会に 様々な形で貢献する		●臓器移植医療への理解が広がることを願いグリーンライトアップを実施(P.21)	3,11,16,17
			●西の町いこいの駅「Route148」オープン(P.10)	2,11,17
			●YOSAKOIソーラン祭り西区宮の沢会場をオール西区で開催(P.14)	11,17
			●北広島工場でのごみ拾い活動の継続	11
			●コンサタウンふれあいフェスタの会場運営に協力(P.14)	11,17
			●北海道三笠高校レモンレシピコンテストを共催	4,11,17
約束 6 <i>Promise.</i>	雇用・労働環境 誰もが安心して 働ける職場にする	すべての業務において、精神的・ 物理的な安全が保障されている	●健康経営優良法人2024(中小規模法人部門)上位法人ブライト500に選出(P.18)	3,8
			●直営店の制服がリニューアル(P.12)	8
			●「日常の中の非日常」商品企画を募集(P.12)	8
			●北海道コンサドーレ札幌バドミントンチームによる体験会を開催(P.10)	3,16

CO₂排出量の推移 (単位:t-CO₂)



<算出範囲>

宮の沢地区:白い恋人パーク、宮の沢工場、本社事務所棟(宮の沢白い恋人サッカー場を除く) 北広島地区:北広島工場
※車両燃料によるCO₂排出量除く

2023年4月より全施設での電力使用を実質再生可能エネルギーに転換しています。2023年度に比べ生産量は増加していますが、CO₂の排出量は横ばいで推移しています。全社での改善提案の提出件数1,478件(前年比107% 1~10月比較)が効率化や省エネに大きく貢献しています。今後もCO₂排出量を抑えながら生産量も拡大し、北海道経済に貢献しながら環境負荷低減に努めてまいります。